



小松家文書目録

太宰府市公文書館

文書群名 太宰府市宰府 小松家文書
年 代 近世後期～昭和期
数 量 69件（153点）
収蔵形態 複写資料
内 容 宰府村において近世期には庄屋、明治期には副戸長をつとめた小松家に伝来する文書群。副戸長の任命書や県会議員の当選状、布達写などの地方文書のほか、小松重盛公墓や広田弘毅像の建設に関わる史料も残されている。
閲覧条件 個人情報に関するものも含まれるため閲覧には事前に申し込みを必要とする
複写条件 複写できない場合がある

小松家文書目録

2014年4月現在

史料番号	史料名	年月日	作成者	宛所	内容	形態	点数	備考
1	律書	明治3年庚午12月			明治3年12月に制定された新律綱要の首巻から五巻まで全192条を収める	縦帳	1	
2	太宰府備考 上・下	慶応3年	竹田定簡		竹田定簡の記した太宰府に関する歴史書	縦帳	2	
3	古田畠年貢地所控	天保6歳未ノ閏7月改メ	小松屋嘉助		小松家の所持する田畠の地位、反別、石高、年貢高の書き上げ	縦帳	1	
4	反別地価地租集計		小松敏太郎		小松敏太郎の所有する田畑の地番、字、等級、反別、地価、地租、地積図の書き上げ	縦帳	1	
5	学校建方告諭	壬申11月(明治5年)			学校建設に関する太政官の告諭の写し	縦帳	1	
6	大阪博物場概則并條例	明治8年			全12条からなる大坂博物場の概則と全26条からなる会場条例の写し	縦帳	1	
7	田畑反別租税控帳	明治19年丙戌2月改	小松敏太郎保之		小松敏太郎の所有する田畑の字、等級、地価、地租の書き上げ	縦帳	1	
8	収穫表例言				地租改正の際の収穫量調査に関する規定	綴	1	
9	〔庶務課拾遺懸既目〕	10月8日	庶務課	第十二大区戸長中	拾遺懸設置に関する布達、全14条からなる拾遺懸の概則	綴	1	
10	湯治心得		白川県医学校		湯治の心得書	綴	1	
11	詔書写	明治5年壬申11月9日			暦法の改正に関する詔書の写し	綴	1	
12	開局祝文	(明治10年1月8日)	福岡県第八大区二小副戸官小松宥之		明治10年1月8日の教育施設の開局に関する祝詞	綴	1	
13	〔布達伺綴〕				明治初期の福岡県の布達や大区からの伺などの控えの綴り	綴	1	
14	〔書簡〕	大正10年5月31日	太宰府町長中村久吉(公印)	沖縄県那覇湊小松琢次郎	太宰府町尋常高等小学校講堂建築費五百円寄附の礼状	一紙	1	
15	〔御沙汰書〕	巳12月		御笠郡原村忠市・平吉・与吉・伊八	昨辰年借入金無利足にて出金の段奇特に付沙汰におよび候事、15~33一包、包紙上書「御書付」	一紙	1	
16	〔御沙汰書〕	辛未11月(明治4年)		宰府村庄屋小松宥八	太宰府社奉幣の節出役に付酒肴下され候事	一紙	1	
17	〔御沙汰書〕	巳4月(明治2年)	孫蔵(黒印)	原・内山両村庄屋藤兵衛	産子養育一件に付称誉として鳥目一貫文授与の事	一紙	1	
18	〔御沙汰書〕	寅12月		御笠郡原村中	奉幣使参向、諸藩宿陣、海岸領海手当等にて、寸志指出の段奇特に付沙汰におよび候事	一紙	1	

小松家文書目録

2014年4月現在

史料番号	史料名	年月日	作成者	宛所	内容	形態	点数	備考
19	〔御沙汰書〕	巳12月		御笠郡原村庄屋 宥八・嘉七	昨辰年借入金無利足にて出金の段奇特に付沙汰におよび候事	一紙	1	
20	〔任命書〕	辛未10月(明治4年)		白木原・杉塚両 村庄屋森山庄 太・宰府村同小 松宥八	副長兼務中大庄屋次席申付事	一紙	1	
21	〔御沙汰書〕	午10月(明治3年)	都甲乙(黒印)	山家触十八ヶ村 庄屋中	山家村触口竹森禎作に申付事	一紙	1	
22	〔御沙汰書〕	巳12月(明治2年)			寸志差出の段奇特に付沙汰におよび候事	一紙	1	
23	〔御沙汰書〕	11月		御笠郡原村庄屋 小松宥八	窮民救助田方旱損助合として米金差出の段奇特に付沙汰におよび俸代まで脇差御免の事	一紙	1	
24	〔御沙汰書〕	8月		御笠郡宰府社領 分嘉六・三右衛 門・寿吉・安 平・源助・太右 衛門・喜三次・ 庄助	寸志差出の段奇特に付沙汰におよび候事	一紙	1	
25	〔御沙汰書〕	子3月	林文右衛門(黒印)、岡部簇	原村百姓中	農業出精風俗宜しき段奇特に付称誉として酒賜授与の事	一紙	1	
26	〔任命書〕	未10月(明治4年)		白木原・杉塚両 村庄屋森山庄 太・宰府村同小 松宥八	戸籍編成に付副長申付事	一紙	1	
27	〔御沙汰書〕	(慶応元年8月16日)		御笠郡原村庄屋 藤兵衛・同村伊 八	大砲鑄立に付寸志差出の段奇特の事	一紙	1	
28	〔御沙汰書〕	子10月		御笠郡原村庄屋 藤兵衛・乙五郎	大奥御普請に付寸志指上の段奇特の事	一紙	1	
29	〔達書〕	12年3月20日	戸長平野正弘(印)	小松宥八	村会議員当選に付承諾証提出依頼	罫紙	1	
30	〔達書〕	明治12年3月20日	宰府村戸長平野正弘(印)	小松宥八	村会議員当選通知	罫紙	1	
31	〔書簡〕	7月5日			証書持参の事	一紙	1	
32	覚				履歴書上	一紙	1	
33	〔覚〕				「西都老松」の覚	一紙	1	
34	〔任命書〕	辛未11月(明治4年)	福岡県	宰府村庄屋小松 宥八	副戸長に任ず	一紙	1	
35	〔任命書〕	壬申6月(明治5年)	福岡県	従前副戸長中	戸長手伝役に任ず	一紙	1	
36	〔任命書〕	明治6年3月	福岡県	戸長手伝・宰府 村副戸長小松宥 八	第十二大区副戸長に任ず	一紙	1	

小松家文書目録

2014年4月現在

史料番号	史料名	年月日	作成者	宛所	内容	形態	点数	備考
37	〔任命書〕	明治7年1月17日		小松宥八	十一小区二日市村・紫村・石崎村・片野村副戸長に任ず	一紙	1	
38	〔任命書〕	明治8年1月18日	福岡県	第十二大区十一小区副戸長小松宥八	第十二大区十二小区副戸長に任ず	一紙	1	
39	〔達書〕	明治8年3月	福岡県	副戸長小松宥八	癸酉党民暴動にて家屋破損に付金30円下賜の事	一紙	1	
40	〔任命書〕	明治8年5月5日	福岡県	第十二大区十一小区副戸長小松宥八	第十二大区戸長に任ず	一紙	1	
41	〔任命書〕	明治8年12月20日	福岡県	第十二大区戸長小松宥八	第十二・十三大区三等戸長に任ず	一紙	1	
42	〔任命書〕	明治9年8月26日	福岡県	第八大区六小区三等戸長小松宥八	第八大区三小区一等副戸長に任ず	一紙	1	
43	〔任命書〕	明治9年12月7日	福岡県	第八大区三小区副戸長小松宥八	第八大区二小区副戸長に任ず	一紙	1	
44	〔任命書〕	明治10年12月24日	福岡県	第八大区二小区副戸長小松宥八	第八大区一小区副戸長に任ず	一紙	1	
45	〔任命書〕	明治11年4月15日	福岡県	第八大区一小区副戸長小松宥八	第八大区三小区副戸長に任ず	一紙	1	
46	〔任命書〕	明治11年12月25日	御笠那珂席田郡役所	学校主者小松宥八	筒井・乙金・吉松・牛頸・坂本・宰府・北谷小学担当に任ず	一紙	1	
47	村会議員当選状	明治12年3月20日	御笠郡宰府村戸長平野正弘(印)	小松宥八		一紙	1	
48	〔達書〕	明治12年12月24日	福岡県	小松宥八	九州地方騒擾の際の尽力に対し金二円下賜の事	一紙	1	
49	〔任命書〕	明治13年2月28日	福岡県少書記官従六位森醇奉	小松宥八	御笠那珂席田郡□(郡)書記に任ず、上欠	一紙	1	
50	〔任命書〕	明治13年10月4日	御笠那珂席田郡郡役所	郡書記小松宥八	勸業科に任ず	一紙	1	
51	〔任命書〕	明治14年2月28日	福岡県	小松宥八	中学思川分校幹事兼校務掛に任ず	一紙	1	
52	〔達書〕	明治15年4月1日	福岡県	筑前国御笠郡太宰府村平民小松宥八	学校資金十円寄付に付木盃下賜の事	一紙	1	
53	県会議員当撰状	明治15年8月23日	御笠那珂席田郡郡長小河久四郎	小松宥八		一紙	1	
54	邨会議員当選状	明治16年5月26日	御笠郡太宰府邨戸長大島喜壮(印)	小松宥八		一紙	1	
55	〔任命書〕	明治16年6月30日	福岡県少書記官正七位萩原汎愛奉	小松宥八	太宰府村戸長に任ず	一紙	1	

小松家文書目録

2014年4月現在

史料番号	史料名	年月日	作成者	宛所	内容	形態	点数	備考
56	〔任命書〕	明治17年7月5日	福岡県大書記官 従六位渡辺清奉	小松宥八	水城・観世音寺・国分・通古 賀・坂本・片野村戸長に任ず	一紙	1	
57	教育会々員当選状	明治17年9月22日	御笠那珂席田郡 郡長権藤貫一	小松宥八		一紙	1	
58	〔達書〕	明治19年2月20日	福岡県	故御笠郡坂本村 外五ヶ村戸長小 松宥八	在職中死去に付現俸給三ヶ月 分支給の事	一紙	1	
59	拝借金年賦上納証文事	明治4年未8月	宰府村鬼木五平 (印)	物産御会所	金札274両1合5勺、銀預17匁2 分の拝借金の年賦上納の証文	一紙	1	
60	福岡県官員表	明治6年1月改正			明治6年の県官員の一覧表	一紙	1	
61	土蔵営膳加勢人名帳	明治17年第1月	小松屋		土蔵営膳の加勢人について日 別の加勢人の姓名、営膳の諸 経費などの書き上げ	横帳	1	
62	家相図	安政5年10月	長谷部丹波正謹 鑑		家の間取り、方位を記した図	一紙	1	
63	家相図	慶応3年8月	長谷部丹波正鑑 察(花押)		家の間取り、方位を記した図	一紙	1	
64	那覇市□□(街図)(中部)				1/2500、手書き彩色の那覇市 の市街地図	一紙	1	
65-0	〔封筒〕				65-1~4を一括した封筒	封筒	1	封筒の宛書「小松重敏 様」・差出「園田芳郎」、 裏に「小松家系図順序記 録」とあり
65-1	小松家累代順序	昭和8年8月	宥八ノ二男六十 一才 小松琢次 郎		貞享年間から昭和8年までの 250年間の系譜書き上げ、死 亡年月日を記載、石碑建築の こと	一紙	1	封筒に「小松家累代順序記 小松家第十代次 小松琢次 郎」とあり
65-2	小松氏累代各霊記				法名・年月日・俗名書き上げ	綴	1	
65-3	小松家累代順序	昭和8年9月3日	小松琢次郎		貞享年間から昭和8年までの 250年間の系譜書き上げ、死 亡年月日を記載、小松家累代 墓碑建築のこと	一紙	1	封筒あり、封筒に「小松家 累代順序示ス 小松重敏 渡」とあり
65-4	〔記〕				貞享2年から大正10年までの 先祖法名・年月日・俗名書き 上げ	綴	1	
66-1	大宰府町見積価格				土地の所有者・種類・面積書 上	一紙	4	便箋
66-2-1	〔書簡〕	11月3日	中村久吉	小松琢次郎殿	利子支払について相談他、封 筒あり	罫紙	2	66-2-1~2は封筒にて一括、 封筒に宛書「沖繩那覇南澤 商會殿」・差出「福岡縣大 宰府町 中村久吉」、裏に 「十一月利見請求書入」と あり

小松家文書目録

2014年4月現在

史料番号	史料名	年月日	作成者	宛所	内容	形態	点数	備考
66-2-2	〔請求書〕	大正12年11月3日	株式会社松田銀行（朱印）（二日市支店）	小松琢磨・中村久吉殿	大正12年8月1日貸付金の元利息金一金壹百八拾貳圓六拾錢を11月20日までに払入れることを請求	専用紙	1	
66-3-1	〔覚〕	（大正）12年8月29日			代金書き上げ	罫紙	1	66-3-1～4は封筒にて一括、封筒に宛書「沖繩那覇南澤商會殿」・差出「福岡縣大宰府町中村久吉」とあり
66-3-2	領収書	大正12年8月29日	筑紫郡二日市町登記所正門向司法代書人吉原豊次郎（朱印）	小松殿 代理中村久吉殿	一金七円拾貳錢の領収書	専用紙	1	
66-3-3	領収書	大正12年8月29日	筑紫郡二日市町登記所南隣 司法代書人豊島虎吉（朱印）	中村殿	一金貳円九十六錢の領収書	専用紙	1	
66-3-4	〔覚〕		（吉原）（印）		金額の計算	一紙	1	
66-3-5	〔書簡〕	（大正12年）8月29日	中村久吉	小松琢次郎殿	料金の支払いについて	一紙	2	便箋
66-4-1	〔書簡〕	22日	小松敏七郎	小野老臺	懇親会開会の返信についての書状	一紙（2枚継）	1	継外れ、66-4-1～2は封筒にて一括、封筒の宛書「小野隆太郎」とあり
66-4-2	〔書簡〕	（33年）9月22日	敏七郎	小野様	結納の実行や結婚式の期日など妹の婚約に関する書状	一紙（2枚継）	1	
66-5-1	〔書簡〕	6月12日	中村久吉	小松琢次郎殿	小松家の墓建造について、竿石・地輪などの様式についての相談	一紙	2	66-5-1～2は封筒にて一括、封筒に「小松家祖先墓表設計図入 石屋收梅吉分」とあり、便箋
66-5-2	〔図〕				墓の設計図・デザイン図、大きさや使用する石の種類を記載	罫紙	2	
66-6-1	〔書簡〕	6月3日	ゆき	琢次郎様	敏太郎の経歴を残すためにも昔からの墓を保存したい旨・経歴を記した碑石を建てたい旨・建築費用の負担についてなど	便箋	2	66-1～3はピンで留め封筒にて一括、封筒に「小松家墓表建設ニ付テ小松ユキ手塚静意見并ニ津田レイ書面入」とあり、ピンは除去
66-6-2	〔書簡〕	6月3日	高野熊雄	小松琢次郎様	小松家累代の墓の建設について賛成の旨	一紙	1	便箋
66-6-3	〔書簡〕		津田礼	小松兄姉様	雪姉の手紙をうけて寄せ墓や碑石などについての意見・建築費用の負担についてなど	一紙	3	便箋
66-7	〔戸籍原本〕	昭和34年1月14日	福岡県筑紫郡大宰府町長 森田久（印）		小松ユキの戸籍原本	専用紙	1	

小松家文書目録

2014年4月現在

史料番号	史料名	年月日	作成者	宛所	内容	形態	点数	備考
67-0	〔封筒〕					封筒	1	67-1～20を一括した袋、裏に「小松内大臣平重盛の墓 広田弘毅元総理大臣横額関係資料」とあり
67-1-0	〔封筒〕					封筒	1	67-1-1～10を一括した袋、表に「小松重盛」とあり
67-1-1-1	碑表建設願	昭和12年5月7日	小松琢次郎・小松琢磨・代理人中村久吉（朱印）	福岡縣知事 畑山四男美殿	小松重盛の墓の建設願、設置の位置・土地・墓面の文字などの詳細を記載、訂正有り	綴	1	67-1-1-1～4までは同折
67-1-1-2	〔名刺〕				名刺、「福岡縣筑紫郡太宰府尋常高等小學校長 藤伊八郎」	一紙	1	
67-1-1-3	玄洋	昭和57年10月10日	玄洋社記念館		玄洋社記念館館報、一面に廣田弘毅の横額・平重盛の墓の記事	一紙	1	
67-1-1-4	広田弘毅先生の自筆「春風接人」の横額入手経路に就いて	昭和	重敏		広田弘毅から横額が贈られた経緯について平重盛の墓の改築経緯と共に説明したもの	一紙	2	便箋
67-1-2-1	〔縮図〕		福岡市鍛冶町二番地 石工 廣田徳右衛門		墓の正面図・側面図、「縮図十分ノ二」とあり	一紙	1	67-1-2-1～3までは同折
67-1-2-2	供養塔設計書				供養塔設計の為の金額明細、石材明細・基礎工事などの金額書き上げと総額を記載	罫紙	2	
67-1-2-3	仕様書	昭和12年3月28日	福岡市鍛冶町二番地 廣田徳右衛門（朱印）		供養塔建設のための仕様書、石材・場所・期日などを記載	罫紙	1	
67-1-3	碑表建設願	昭和12年5月5日	小松琢次郎・小松琢磨・代理人中村久吉	福岡縣知事 畑山四男美殿	小松重盛の墓の建設願、設置の位置・土地・墓面の文字などの詳細を記載、下書カ	罫紙	3	
67-1-4	碑表建設願	昭和12年5月7日	小松琢次郎・小松琢磨・代理人中村久吉（朱印）	福岡縣知事 畑山四男美殿	小松重盛の墓の建設願、設置の位置・土地・墓面の文字などの詳細を記載、訂正有り、67-1-1-1と同じ内容	綴	1	
67-1-5	碑表建設願	昭和12年5月7日	小松琢次郎・小松琢磨・代理人中村久吉（朱印）	福岡縣知事 畑山四男美殿	小松重盛の墓の建設願、設置の位置・土地・墓面の文字などの詳細を記載	罫紙	3	
67-1-6	〔碑表建設願〕				67-1-1-1などと同じ内容、前後欠	罫紙	2	

小松家文書目録

2014年4月現在

史料番号	史料名	年月日	作成者	宛所	内容	形態	点数	備考
67-1-7	小松重盛ノ墓ノ由来				小松重盛公の墓が太宰府にある由来を日本外史の記述をもとにまとめた文章	一紙	3	封筒あり、封筒に「小松重盛公墓ノ由来」とある他、鉛筆字にて「父琢次郎書」とあり、一括していたクリップは除去、便箋
67-1-8	[御礼]	昭和62年9月9日	前福岡市長進藤一馬先生受章記念祝賀会発起人会		前福岡市長進藤一馬氏の名誉市民章・勲一等瑞宝章受章祝賀会開催の挨拶状と進藤一馬氏の挨拶状	一紙	2	封筒あり、封筒に「御礼」とあり
67-1-9	太宰府の伝説	昭和53年2月10日	発行者瓦林潔・編集者藤田敏彦		「松峡の宮と御笠の森」「宝満山の竈門岩と馬蹄石」などの太宰府に伝わる伝説集	冊子	1	
67-1-10-0	[紐]					紐	1	67-1-10-1~6を一括した紐
67-1-10-1-0	[封筒]	昭和12年9月24日(消印)	福岡県太宰府町中村久吉	沖縄那覇西本町一ノ一 小松琢次郎殿	表に「重盛公墓石廣田徳兵衛石屋図面在中」とあり	封筒	1	67-1-10-1-1~4を一括した封筒
67-1-10-1-1	受負証証	昭和12年2月5日	福岡市鍛冶町廣田徳右衛門(朱印)	小松琢次郎殿・代理中村久吉殿	重盛の墓の設計計画	罫紙	1	
67-1-10-1-2	見積書	昭和12年3月20日	福岡市鍛冶町廣田徳右衛門(朱印)		重盛公の墓に関する壱千四百五拾八円の見積書	罫紙	1	
67-1-10-1-3	見積書	昭和12年9月24日	福岡市鍛冶町廣田徳右衛門(朱印)	中村久吉様	重盛公の墓に関する一金六百八拾円の見積書	一紙	1	便箋
67-1-10-1-4	[名刺]				名刺「元祖帽子屋五代目庭師津崎九平」	一紙	1	
67-1-10-2	見積書	昭和11年4月8日	牧梅吉	小松様	重盛公の墓建設に関する見積書、石材などの代金書き上げ	罫紙	1	
67-1-10-3	見積書	昭和11年4月8日	牧梅吉	小松様	重盛公の墓建設に関する見積書、石材などの代金書き上げ	罫紙	1	
67-1-10-4-1	[書簡]	5月11日	岡崎石匠組合岡崎市中町 太田清市	小松琢次郎殿	供養塔について代金見積ほか	一紙	2	67-1-10-4-1~4は封筒(21.7×8.0)にて一括、封筒差出「岡崎市中町 太田清市」・宛書「南澤商会小松琢次郎殿」、便箋
67-1-10-4-2	[図]				供養塔の位置を示した図	一紙	1	
67-1-10-4-3	石寶塔代金表	10月14日	岡崎市中町燈籠清蔵石材販賣太田清市	小松様	石寶塔・吏蹟碑などの代金書き上げ	一紙	1	便箋
67-1-10-4-4	[書簡]	10月14日	岡崎市中町 太田清市	小松殿	供養塔設計について	一紙	2	便箋

小松家文書目録

2014年4月現在

史料番号	史料名	年月日	作成者	宛所	内容	形態	点数	備考
67-1-10-5	〔書簡〕	昭和11年5月4日	山口縣徳山市東船町 加藤猪平 (朱印)	南澤商会 小松 琢次郎様	供養塔設計について、見積書同折	綴	1	封筒あり、一括していたピンは除去
67-1-10-6	〔書簡〕	(昭和) 11年7月7日 (消印)	小松正勝	小松琢次郎様	調べ物をしていた際に見付けた重盛公についての記事の書き上げ、記事は明治34年発行の『福岡縣郷土史誌』(上巻)のもの	一紙	7	封筒あり、便箋
67-2	〔御礼〕	昭和56年12月21日 (領収証)	廣田弘毅先生銅像建設期成会 会長進藤一馬他2名	小松重敏様	広田弘毅先生銅像建設にあたって寄附金の協力にたいすお礼状、3万円の領収証在中	一紙	2	封筒あり
67-3	〔記〕				碑表建設願に記入する全8項目の書き上げ	罫紙	1	
67-4-1	〔記〕				小松琢次郎・琢磨所有の土地の書き上げ、種目・字・地番・面積・所有者・備考の項目	罫紙	1	綴はずれカ、67-4-1~4は封筒にて一括
67-4-2	土地反別更正登記申請書	大正4年6月15日	代人中村久吉 (朱印)	福岡区裁判所二日市出張所御中	土地更正登記の申請書と物件書き上げ (代書人安恒学二郎)	綴	1	
67-4-3	土地反別変更登記申請書	大正4年6月15日	代人中村久吉 (朱印)	福岡区裁判所二日市出張所御中	土地反別変更登記申請書と物件書き上げ (代書人安恒学二郎)	綴	1	
67-4-4	〔戸籍謄本〕	昭和30年1月13日	福岡県筑紫郡太宰府町長 中村久二 (朱印)		戸主小松正勝の戸籍謄本、本籍・家族の続柄などを記載	綴	1	
67-5	土地家督相続所有権保存登記申請書	大正4年6月15日	代人中村久吉 (朱印)	福岡区裁判所二日市出張所御中	土地家督相続所有権保存登記申請書と物件書き上げ (代書人安恒学二郎)	綴	1	
67-6	領収証	昭和14年7月17日	太宰府町長小野弥之助・受取人書記不老不弉男	小松重敏殿	香典返の一金五拾圓・一金参拾圓の領収証	専用紙	2	封筒あり、封筒に「父死亡に付き寄附受取記入」とあり
67-7	史跡と伝説	昭和53年2月20日	財団法人古都大宰府を守る会発行		太宰府町周辺地図、番号をふって史跡の位置を示す、同一のものが2枚	一紙	2	
67-8	領収証	(昭和) 58年1月15日	表装師 菊池晚香堂 (朱印)	小松様	10万円の領収証	専用紙	1	
67-9	〔挨拶〕	昭和57年12月末日	財団法人廣田弘毅記念青少年育成会理事長進藤一馬	小松重敏様	先日の廣田弘毅先生御法要への出席・供料に対するお礼状	一紙	1	
67-10	西日本新聞	昭和56年8月2日			廣田弘毅の書が36年ぶりに発見され玄洋社記念館に寄贈された記事あり	一紙	1	

小松家文書目録

2014年4月現在

史料番号	史料名	年月日	作成者	宛所	内容	形態	点数	備考
67-11	領収証	昭和63年5月7日	財団法人玄洋社 記念館	小松重敏様	玄洋社記念館賛助会費1万円 の領収証	専用 紙	1	
67-12	[写真]				小松内大臣平重盛の墓の写 真、昭和13年3月の家族写 真、昭和9年4月の小松内大臣 平重盛の墓の写真など	写真	9	
67-13	西竄七十年記念大祭 五卿遺墨 展覧會出品目録	昭和10年3月17日			五卿遺墨展覧會の出品目録、 主に福岡県内からの出品、沖 縄小松琢次郎出品は「三條実 美公和歌」「西三條季知卿和 歌」	一紙	1	
67-14-0	[封筒]					封筒	1	67-14-1~3を一括した袋
67-14-1	重盛の足跡	昭和62年1月			重盛の墓についての調べ学習	冊子	1	
67-14-2	[記]				菊地晩香堂への史料貸出につ いてのメモ、貸出日・史料・ 料金などを記載	一紙	1	
67-14-3	美術表装		晩香堂		晩香堂の紹介チラシ	一紙	1	
67-15-0	[封筒]					封筒	1	67-15-1~5を一括した袋
67-15-1	[案内]	昭和57年4月吉日	廣田弘毅先生銅 像建設期成会 会長進藤一馬	小松重敏様	「廣田弘毅先生銅像除幕式ご 案内」と「現地地図ご案 内」、5月15日に開催される 廣田弘毅先生銅像除幕式・祝 賀會の案内状	一紙	2	封筒あり
67-15-2	廣田弘毅像	昭和57年5月15日 建立	廣田弘毅先生銅 像建設期成會		福岡市中央区護國神社前に建 立された廣田弘毅像の写真	写真	1	
67-15-3	銅像の概要	(昭和57年5月15 日)	廣田弘毅先生銅 像建設期成会		銅像制作者や銅像の寸法・彫 刻した文字・工事担当などの 概要を紹介	一紙	1	
67-15-4	[挨拶]	昭和57年5月15日	廣田弘毅先生銅 像建設期成会		銅像の完成と除幕式開催の挨 拶	一紙	1	
67-15-5	廣田弘毅先生銅像碑銘	昭和57年5月15日	廣田弘毅先生銅 像建設期成会 会長進藤一馬		廣田弘毅の経歴の紹介	一紙	1	
67-16-0	[封筒]					封筒	1	67-16-1~3を一括した袋
67-16-1	玄洋	昭和57年4月1日	玄洋社記念館		玄洋社記念館館報、一面に廣 田弘毅先生の銅像建設の記事	一紙	1	
67-16-2	玄洋	昭和58年1月25日	玄洋社記念館		玄洋社記念館館報、一面に開 館五周年における館長進藤一 馬の挨拶の記事	一紙	1	
67-16-3	[写真]				廣田弘毅の横額「春風接人」 の写真、昭和57年10月10日 の玄洋(67-1-1-3)の記事に 使われたものカ	写真	2	

小松家文書目録

2014年4月現在

史料番号	史料名	年月日	作成者	宛所	内容	形態	点数	備考
67-17-1	〔書簡〕	昭和56年12月20日	小松重敏	廣田弘毅先生銅像建設期成会殿	廣田弘毅先生銅像建設期成会設立への寄附金拠出承諾のこと	便箋	1	67-17-1~3はクリップで留め封筒にて一括、封筒表に「廣田弘毅先生関係」とあり、クリップは除去
67-17-2	振込金領収書	昭和56年12月21日	株式会社福岡銀行		小松重敏から廣田弘毅先生銅像建設期成会へ3万円の振込の領収書	専用紙	1	
67-17-3	〔廣田弘毅先生銅像建設期成会設立関係書類〕	昭和56年8月吉日、9月吉日	廣田弘毅先生銅像建設期成会		『廣田弘毅先生銅像建設期成会』設立趣意書・『廣田弘毅先生銅像建設期成会』会則・廣田弘毅先生銅像建設期成会役員名簿・廣田弘毅先生の銅像建設のための寄附金拠出についてお願い・寄附金お申込につきましてお願い	綴	1	
67-18	小松重盛之墓由来				小松重盛の墓について紹介、書きかけカ	一紙	1	
67-19	玄洋	昭和57年10月10日	玄洋社記念館		玄洋社記念館館報、一面に廣田弘毅の横額・平重盛の墓の記事、67-1-1-3と同じもの	一紙	1	
68-1	祭糒料				香典の包み紙・水引き、「天皇皇后両陛下 祭糒料 故陸軍少尉小松琢磨」とあり	一紙	1	
68-2	死亡通知	昭和15年11月3日	小松治子・小松重敏・外親族一同		出征中支那にて戦死した小松琢磨の死亡通知	葉書	1	
68-3	戦傷死状況調書	昭和15年10月27日	中村次部隊長 中村次喜蔵（朱印）		小松琢磨の戦傷死状況調書、受傷年月日・受傷場所・戦傷死場所・戦傷死年月日・受傷部位・状況経過を詳細に記載	綴	1	
69	保証書	昭和13年12月27日	小松琢次郎（登記業務者）、武石源太郎（朱印）・岡部隆昌（朱印）（保証人）		物件の所有権移転のための保証書	綴	1	原本カラーコピー